

行政報告の主な内容（7課13項目）

(1)総務課	執行体制について
	国の栄典関係について
	基地対策・自衛隊関係について
(2)企画商工観光課	総合計画策定委員会の設置等について
	十勝岳ジオパーク構想の認定申請について
	ふるさと応援寄付モニター事業について
(3)保健福祉課	臨時福祉給付金の支給状況報告
(4)町民生活課	町税等の収納状況について
(5)農業振興課	農作物の生育状況について
(6)建設水道課	建設産業安全大会について
	道路・治水砂防関係について
(7)教育振興課	上富良野高校の入学状況について
(8)総務課	建設工事の発注状況について

行政報告

(平成29年6月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第2回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

それでは、去る3月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告【総務班関係】)

はじめに、本年度4月からの執行体制についてであります。職員数については、昨年度中の定年退職者など8名の欠員に対して、看護師1名、社会福祉士1名、保健師1名、一般事務職3名の採用を行い、183名による執行体制とし、さらに再任用職員として4名の採用を行ったところであります。

また、組織機構については、産業振興課を廃止し、農業振興部門を担う農業振興課として、農業委員会とともに、ふらの農業協同組合上富良野支所へ移転し、農業窓口のワンストップ化を図り、農業施策の推進体制を強化したところであります。さらに、企画振興部門・広域行政部門・商工観光部門を統合した企画商工観光課を設置し、第6次総合計画策定に向けた取り組みをはじめ、十勝岳ジオパーク認定やふるさと応援寄附モニター事業など、地域連携や産業連携を図るための組織再編を行ったところであります。

今後、協働のまちづくりを進めるため、必要な組織体制の見直しを加えながら体制の強化を図り、業務の円滑な推進に取り組んで参ります。

次に、国の栄典関係についてであります。4月29日付けの発令による危険業務従事者叙勲においては、防衛功労として1名が瑞宝双光章、4名の方が瑞宝単光章を受賞されたところであり、受賞者のこれまでの功績に心から敬意を表するものであります。

(総務課行政報告【防災関係】)

次に、4月18日の強風による被害状況についてであります。発達した低気圧の影響により、道内各地で大きな被害が生じ、当町におきましても、東中地区を中心に、春の耕作に向け準備されていたビニールハウス等に多数の被害が発生したところであります。

町有施設につきましては、東中教職員住宅ほか2施設において屋根が損傷したことから応急対応を行い、その後早急な修復に対応するため、4月28日に関係予算を専決処分させていただき、先般の町議会第4回臨時会においてご承認いただいたところであります。

(総務課行政報告【基地調整関係】)

次に、自衛隊関係についてであります。3月27日に第120特科大隊が廃止となり、同日第14施設群が新編され、同月29日に上富良野駐屯地において、第14施設群群旗授与式が執り行われたところであります。

基地対策関係については、6月6日から8日にかけて上富良野基地対策協議会により「防衛施設周辺整備対策要望」を、防衛省をはじめ関係機関及び北海道選出国會議員に対して行ってまいりました。

記念行事関係では、6月18日の第2師団及び旭川駐屯地創立記念行事へ参加したところであります。

(企画商工観光課行政報告【企画政策班関係】)

次に、第6次総合計画策定についてであります。庁内に「上富良野町総合計画策定委員会」を設置するとともに、策定委員会の補助組織として「プロジェクト会議」を設置し、具体の作業を開始したところであります。

また、計画策定支援業務事業者については、3社から企画提案書の提出があり、審査会を経て、「株式会社ぎょうせい北海道支社」に決定いたしました。

今後、町民アンケートをはじめ、町内の様々な団体を対象に焦点を整理する各種団体への意向調査（フォーカスグループインタビュー）などを通じ、広く町民の皆様に参加いただき、計画策定に取り組んでまいります。

次に、ふるさと納税制度を活用したふるさと応援寄付モニター事業についてであります。ふるさと応援寄付の受付から、モニター商品の発送など関連する業務を一括して、「株式会社さとふる」と委託契約を締結することとしております。

また、モニター商品の協力事業者については、応募いただいた14事業者について、産業賑わい協議会での協議を経て、契約を締結する明日からインターネットによる受付サイトが開設され、準備が整ったところから情報掲載される運びとなっております。

今後、事業の円滑な運営を図り、地域経済の振興発展につながるよう努めてまいります。

次に、ふるさと納税制度を活用したふるさと応援寄付モニター事業についてであります。寄付の受付からモニター商品の発送など関連

する業務を一括して行う委託契約を明日「株式会社さとふる」と締結し、合わせて、インターネットによる受付が開設されるところであります。

この受付サイトでは、産業賑わい協議会での協議を経て、モニター商品の協力事業者として決定した14事業者が取扱う商品が順次掲載されていくものであります。

今後、事業の円滑な運営を図り、地域経済の振興発展につながるよう努めてまいります。

次に、十勝岳ジオパーク構想の認定申請についてであります。4月17日付けで「日本ジオパークネットワーク正会員加盟申請書」を提出し、5月21日、幕張メッセで開催された「新規日本ジオパーク認定プレゼンテーション」に臨み、当地域における十勝岳火山群を中心とした貴重な地形・地質遺産とあわせて、火山災害からの復興の歴史と防災・減災のまちづくり活動などについて想いや取り組みについて述べてきたところであります。

同日、日本ジオパーク委員会から、現地審査を実施する地域として決定をいただいたことから、夏の現地審査に向け、なお一層の活動推進と準備に努めてまいります。

(保健福祉課行政報告【高齢者支援班関係】)

次に、臨時福祉給付金についてであります。5月22日に申請受付を終了し、申請辞退や居所不明などにより申請のなかった方を除き、支給対象1,546件に対し1,515件、2,979万円を支給したところであります。

(町民生活課行政報告【税務班関係】)

次に、町税等の徴収状況についてであります。例年どおり、夜間納税相談窓口の開設や滞納者に対する督促・差押え等を行い、徴収に努めてまいりました。

これらにより、平成28年度の収納率は、滞納繰越分を含め、町税で0.2%、国保税で1.0%向上したところであり、滞納繰越金は、前年対比で、町税166万6千円、国保税334万円減少し、町税で433万7千円、国保税で525万2千円となっております。

今後も納期内納税の啓発と収納率の向上に努めてまいります。

(農業振興課行政報告)

次に、農作物の生育状況についてであります。先にご報告したとおり4月18日に発生した強風により、ビニールハウスや格納庫など、多くの営農施設に被害が及んだところであります。

被害にあったビニールハウスの内、メロンや玉ねぎなど、既に定植を終えたもの、また、水稻についても籾播きを終えたものもありましたが、その後の農業者のご努力と各農業関係機関の迅速な対応により、被害の影響は最小限に留まったのではないかと感じております。

その後におきましては、寒暖の差が大きかったものの、播種・移植など、概ねの作業が順調に推移し、作物の生育につきましても平年並みに進んでいるところであります。

引き続き、生育状況を注視しつつ、農業関係機関相互の連絡をより密にし、農業者の皆様とともに豊穡の秋が迎えられるよう努めてまいります。

(建設水道課行政報告)

次に、建設産業安全大会についてであります。建設工事の繁忙期を迎えるにあたって、4月27日に建設業協会と商工会工業部会の共催により、建設事業従事者約150名が集い開催されました。

大会では、交通事故や労働災害の防止を参加者全員で確認し、無事故を誓ったところでもあります。

次に、道路整備及び治水砂防関係についてであります。4月18日に、北海道道路促進協会、北海道治水砂防海岸事業促進同盟及び北海道防災協会の通常総会に、また、5月11日、25日には、全国治水砂防協会の理事会と通常総会にそれぞれ出席し、道路、砂防両事業の拡充及び促進を図るための活動を行ったところでもあります。

(教育振興課行政報告)

次に、上富良野高校の入学状況についてであります。今春の新入学生数は、地元の中学卒業生23名を含む31名となり、全校生徒数は84名となったところでもあります。

今後においても、地域の皆様のご理解とご協力をいただき、魅力ある学校づくりへの支援と地元高校の存続に努めてまいります。

(総務課行政報告【財政管理関係】)

最後に、建設工事の発注状況についてであります。本年度、入札執行した建設工事は、6月16日現在、件数で19件、事業費総額で530,248千円となっております。また、本年度、発注予定の建設工事は39件で、その情報については4月1日付けで公表したとこ

ろであります。

なお、お手元に「平成29年度建設工事発注状況」を配布いたしましたので、後ほど御高覧いただきたく存じます。